

匝瑳市教育委員会平成27年10月定例教育委員会会議録

議会棟第三委員会室

1 期 日 10月27日(火) 開会 午後3時30分 閉会 午後4時10分

2 出席委員

委員長	大木 睦子
委員	熱田 とし子
委員	平山 孝雄
教育長	池田 竹四

3 出席職員

学校教育課長	小関 和雄
生涯学習課長	水口 孝
図書館長	藤崎 宏道
公民館長	日下部 真一
給食センター所長	椿 進

4 委員長挨拶

飯高檀林コンサートの日は雨で、御堂の中で能を観ることになった。境内を背景に観たが、雨でなかったらああいう光景を見ることはできなかった。思いがけずよかったという声も聞かれた。講師で見えられた大川先生が、25日に子ども会でも能の体験をさせてくれた。大鼓、小鼓、太鼓の経験、合いの手の入れ方など子ども達は楽しそうであった。学校生活の中でもたくさん学ぶが、学校を離れたところでも子ども達にいろいろな体験を与えられたら心豊かになると思いながら参加した。匝瑳市の中にそういう体験の場を与えてくださる方がいるというのもすばらしいことだ。いい企画であった。

それでは、10月定例教育委員会を始めます。

5 前回会議録の承認(前、9月定例会分)

大木 睦子 委員長

熱田 とし子 委員

## 6 議事録署名人選出（本、10月定例会分）

大木 睦子 委員長

平山 孝雄 委員

## 7 現況報告及び当面の方針

資料に基づき、各課館所長が9月1日から9月30日までの現況報告及び当面の方針について説明があった。

熱田委員

給食アンケートの大人の結果は、美味しい、適量である、食べやすいという回答が多いが子ども達の残菜は多いようだ。これについてどのように考えているか。

給食センター所長

学校によっても差がある。昔からある和食の献立など、最近は家庭であまり食べないような品があることも考えられる。学校訪問などで把握していきたい。

熱田委員

せっかく美味しいとアンケートで回答してくれた給食なのでもったいないと思った。

給食センター所長

残菜は重量で計算しているので、汁物の汁であったり内容を精査して検討する。

平山委員

匝瑳市議会9月定例会市議会大綱質疑にもありましたが給食費の滞納について、児童手当が支給されている家庭は承諾が得られればそれを給食費にあてがうことができるようになったと認識しているが、これまでと最近の滞納状況はいかがか。

学校教育課長

承諾を得て滞納分を児童手当から差し引いてもらうこともできるが、昨年度は2世帯であった。児童手当は、ほとんど活用されていない状況にある。

平山委員

今後、保護者の承諾を得る働きかけをしようとしているのかどうか伺いたい。

学校教育課長

学校でも働きかけをして、平成26年度未納額については改善されてきた。し

かし、その前の累積があり、総額としては年々増加している。

委員長

これは、給食費だけの問題ではなく保育料なども関係していて全体的に把握する必要があると思う。

アンケート回答に、給食の量が家庭の食事量より多いと2割の人が感じているというのが意外であった。また、「子どもに媚びない給食を継続していただきたい」という意見があった。子どもの好きな食事だけを提供すれば残菜が減ると思うが、食育という視点からは大事な事と思った。

## 8 その他

学校教育課長から11月定例教育委員会の日程提案があり、11月30日（月）に決定した。